

平成 30 年度後学期

理工学研究科博士前期課程

量子線科学専攻

学生募集要項

茨城大学大学院

茨城大学大学院理工学研究科アドミッションポリシー

〔入学者に求める能力・資質〕

理工学研究科博士前期課程において、入学者に求める知識、技能及び意欲は以下のとおりである。

1. 専門とする科学・技術の分野に関する、学士課程卒業者に求められるのと同等以上の知識と技能
2. 専門知識と技能を活かし、研究者・高度専門職業人として幅広い分野で活躍することで、地域の活性化に貢献する意欲

〔入学者選抜において評価する能力・成果〕

理工学研究科博士前期課程の入学者選抜においては以下の知識、技能及び意欲を評価する。

1. 専門とする科学・技術の分野に関する、基礎的学力と技能
2. 幅広い分野で活躍するために必要な語学力
3. 問題解決に積極的に取り組む意欲

案 内

茨城大学大学院理工学研究科博士前期課程は、量子線科学専攻、理学専攻（数学・情報数理、宇宙物理学、化学、生物学、地球環境科学の5コース）及び工学系各専攻（機械システム工学、電気電子システム工学、情報工学、都市システム工学の4専攻）の計6専攻で構成されています。

本研究科博士前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的とし、その標準修業年限は2年です。

また、博士後期課程には、量子線科学、複雑系システム科学、社会インフラシステム科学の計3専攻があり、その標準修業年限は3年です。

※ 外国人留学生特別入試は別冊子となっておりますので、理学部入試係又は工学部入試係にお問い合わせください。

※ The foreign students special selection is in another booklet.

Please refer to Admission Office of the College of Science or Engineering.

目 次

I. 募集人員

II. 一般入試・社会人特別入試

出願資格

出願手続

選抜方法・合格者発表等

III. 入学資格の個別審査について

IV. 個人成績の情報開示について

V. 主要教育研究分野及び担当教員

VI. 入学案内

[出願書類（本学指定様式）]

一般入試

入学志願者名票

受験票・写真票

社会人入試

入学志願者名票

受験票・写真票

推薦書

志望理由書

入学資格の個別審査書類

入学資格個別審査申請書

経歴書

入学希望理由書

宛名票

振込依頼書

個人情報の取扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）に則り、出願書類等により志願者から提出された個人情報については、本学入学者選抜に係る用途にのみ使用し、他の目的に利用、または提供することはありません。

I. 募集人員

専攻	コース・プログラム	募集人員			試験場
		一般入試	特別入試		
			社会人	外国人留学生	
量子線科学	環境放射線科学コース(※) 物質量子科学コース(※) 化学・生命コース(※) ビームライン科学コース(※)	若干名	若干名	若干名	工学部試験場

備考：1. 一般入試の募集人員には特別入試の募集人員を含みます。

2. (※)印のコースには連携大学院方式が含まれます。

Ⅱ．一般入試・社会人特別入試

《 出願資格 》

1．一般入試

次のいずれか一つに該当し、かつ平成 28 年 7 月 1 日以降に TOEIC 又は TOEFL の試験を受験した者

- (1) 大学を卒業した者及び平成 30 年 9 月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条 4 項の規定により、学士の学位を授与された者及び平成 30 年 9 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 30 年 9 月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 30 年 9 月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 30 年 9 月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 30 年 9 月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 30 年 9 月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院において、本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者（「Ⅲ．入学資格の個別審査について」を参照）
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 30 年 9 月 20 日までに 22 歳に達する者（「Ⅲ．入学資格の個別審査について」を参照）

3．社会人特別入試

出願時に 1 年以上の社会人としての職務歴を有する者で、次のいずれか一つに該当する者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第 104 条 4 項の規定により、学士の学位を授与された者及び平成 30 年 9 月までに授与される見込みの者
- (3) 文部科学大臣の指定した者
- (4) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた

者で、平成 30 年 9 月 20 日までに 22 歳に達する者（「Ⅲ. 入学資格の個別審査について」を参照）

《 出願手続 》

1. 出願期間及び方法

下記期間に郵送又は持参により手続を行ってください。

平成 30 年 6 月 11 日（月）～ 平成 30 年 6 月 14 日（木）

持参する場合 受付時間 10：00 ～ 11：45 及び 13：00 ～ 16：00

郵送の場合 必ず書留速達郵便とし、期間内必着とします。

2. 出願書類提出先及び問い合わせ先

問い合わせは、平日の 8 時 30 分から 17 時 15 分の間にお願いします。

茨城大学理学部入試係 〒310-8512 水戸市文京 2-1-1 電話：029-228-8332

又は

茨城大学工学部入試係 〒316-8511 日立市中成沢町 4-12-1 電話：0294-38-5010

3. 教育研究内容等の確認

必ず出願前に志望する専攻の担当教員へ連絡を取り、教育研究内容等を確認してください。

教育研究内容については、各専攻の「主要教育研究分野」及び「担当教員」で確認してください。

各教員の教育研究内容：<http://www.gse.ibaraki.ac.jp/research/staff/master/index.html>

4. 出願書類等

出願書類等	摘要
入学志願者名票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。 <u>※志望指導教員欄は、必ず事前に当該教員に連絡をとり、了承を得てから記入してください。</u>
受験票・写真票	本学所定の用紙に必要事項を記入し、写真（縦 4cm × 横 3cm、正面上半身無帽で、出願前 3 か月以内に撮影したもの）を貼付してください。
振替払込受付証明書 又は収納証明書 (検定料)	検定料 30,000 円 次の①～③のいずれかの方法で納入し、納入後に発行される「振替払込受付証明書」又は「収納証明書」を提出してください。 ①金融機関の窓口で納入する場合 ア. 別添の払込用紙を最寄りの金融機関に持参して納入してください。 郵便局、銀行、信用金庫、農協などの全国の金融機関窓口で納入できます。 イ. 振替払込受付証明書（お客さま用）と振替払込請求書兼受領証は、金融機関の受領印があることを確認の上、受け取ってください。 ○必ず金融機関窓口にて納入してください。 ※ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。 ○『振替払込受付証明書（お客さま用）』は、他の出願書類と併せて提出してください。 なお、『振替払込請求書兼受領証』は本人控ですので、提出する必要はありません。受験票が手元に届くまで大切に保管しておいてください。 ○払込用紙の「通信欄」、「ご依頼人」等欄の「No.」は受験番号ではありません。 ②コンビニエンスストアで納入する場合 ア. 「コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照の上、納入してください。 イ. 納入後は、必ず「取扱明細書」又は「取扱明細書兼領収書」を受け取ってください。 ウ. 「取扱明細書」又は「取扱明細書兼領収書」に印字されている「収納証明書」を切り取り、提出してください。 エ. <u>出願期間最終日の納入受付時間は 15 時まで</u>となりますので、ご注意ください。 ③クレジットカードで納入する場合 ア. e-apply（イーアプライ）ホームページ（http://e-apply.jp/e/ibaraki-gs/）にアクセスし、納入手続きを行ってください。 イ. 手続き完了後、支払完了後に送信されるメールに記載のある URL よりアクセスし、PDF ファイルをダウンロードの上、「申し込み明細」をプリントアウトしてください。

	ウ。「申し込み明細」に印字されている「収納証明書」を切り取り、提出してください。 エ. 出願期間最終日の納入受付時間は 15 時までとなりますので、ご注意ください。 【注意事項】 1. 納入時の手数料は、志願者負担となります。 2. 出願書類受理後は、振込済の検定料は返還できません。 ただし、検定料を払い込んだが出願しなかった場合又は誤って二重に振り込んだ場合は、返還請求ができますので、下記に申し出てください。なお、返還される金額は、振込手数料を差し引いた金額となります。 <u>茨城大学財務部財務課経理グループ（電話 029-228-8561）</u> 3. コンビニエンスストア及びクレジットカードで納入する場合の操作方法等については下記にお問い合わせください。 <u>（株）ディスコ「学び・教育」出願・申込サポートセンター（電話 0120-708898）</u>
学業成績証明書等	出身大学（学部）長又は学校長が作成し、厳封したもの。 高等専門学校の専攻科を修了した者及び修了見込みの者は「高等専門学校の学業成績証明書」を併せて提出してください。 ※入学資格の個別審査により出願資格を得た者は、提出を省略することができます。
卒業（見込）証明書 又は 修了（見込）証明書	出身大学（学部）長又は学校長が作成したもの。 ※入学資格の個別審査により出願資格を得た者は、提出を省略することができます。
学士の学位授与 （申請）証明書	大学改革支援・学位授与機構から学士の学位が授与された旨明記されたもの。又は同機構に学士の学位授与の申請をしており、その旨明記した証明書（様式任意）を出身大学長又は学校長が作成したもの。 （出願資格（2）に該当し、短期大学若しくは高等専門学校を卒業した者又はこれに準ずる者が提出する書類です。）
住民票 【外国籍の者のみ】	市区町村長が交付したもの。国籍、在留資格及び在留期間が明記されたものを提出してください。 出願書類に記入する氏名は、住民票記載の氏名と同一にしてください。
受験票等送付用封筒 （長形 3 号封筒）	封筒（長形 3 号封筒）に、送付先（郵便番号・住所・氏名）を明記のうえ、郵便切手（362 円分）を貼り付けてください。
宛名票	本学所定のものを使用し、必要事項を記入してください。
推薦書 【本学所定の用紙】	社会人特別入試において、勤務先の所属長が作成したもの。 （出身大学の指導教員又はそれに準じる者が作成したものも可。）
受験承諾書 【企業等に在職中の者のみ】	企業等に在職中の者は、所属長の承諾書（様式任意）を提出してください。

TOEIC 又は TOEFL のスコアシート原本 及び写し 【一般入試のみ】	下記の①、②、③、④、⑤いずれかの原本及び写し ① TOEIC 公開テストの Official Score Certificate (公式認定証) ② TOEFL-iBT の Examinee Score Report (受験者用控のスコア票) ③ TOEFL-PBT の Examinee Score Report (受験者用控のスコア票) ④ TOEIC 団体特別受験制度(IP テスト)の Score Report (個人成績表) ⑤ TOEFL 団体向けテストプログラム(ITP テスト)の Score Report (受験者用控え) なお、スコアシートは平成 28 年 7 月 1 日以降の試験を受験したものに限りします。 出願書類を持参する場合は、これらのスコアシート原本は返却します。 また、郵送での出願の場合には、原本を受験票とともに返却します。 ※郵送での出願において、スコアシートの返送を簡易書留で希望する場合には、 672 円分の郵便切手を受験票送付用封筒に貼り付けてください。 <u>※上記④または⑤で出願する場合は、「当該試験時に写真等による本人確認が行われていたことが確認できる書類」も提出してください(茨城大学主催の試験を除く)。上記確認が出願期間内に行えない場合、出願を認められません。ご不明の点等については、P.3 の 2 に示す問い合わせ先に早めにご相談ください。</u>
志望理由書 【本学所定の用紙】	社会人入試において、1,200 字以内で志願者本人が記載したもの。

必要出願書類一覧

●は必ず提出する書類

出願書類等	量子線科学専攻	
	一般入試	社会人特別入試
入学志願者名票	●	●
受験票・写真票	●	●
振替払込受付証明書 又は収納証明書	●	●
学業成績証明書等	●	●
卒業（見込）証明書 又は 修了（見込）証明書	●	●
学士の学位授与 （申請）証明書	出願資格(2)に該当する者のみ	
住民票	外国籍の者のみ	
受験票等送付用封筒	●	●
宛名票	●	●
推薦書	—	●
受験承諾書	企業等に在職中の 者のみ	—
TOEIC 又は TOEFL のスコアシート原本 及び写し	●	—
志望理由書	—	●

5. 出願上の注意事項

- (1) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。
- (2) 一度受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- (3) 提出すべき書類の中には、発行機関において日数を要するものがあるので、早めにご用意ください。
特に、TOEIC・TOEFL のスコアシートの入手は、受験後、数週間かかるのでご注意ください。

6. 障害等のある入学志願者の事前相談

障害等のある者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、出願前に理学部入試係又は工学部入試係にご相談ください。

《 選抜方法・合格者発表等 》

～ 一般入試 ～

選抜方法

面接（口頭試問を含む）結果、学業成績、TOEIC 又は TOEFL のスコア等を総合して選考します。

TOEIC 又は TOEFL のスコアの換算方法は、P.9 を参照してください。

面接日時及び試験場

平成 30 年 7 月 1 日（日）10：00～ 工学部試験場（茨城県日立市中成沢町 4-12-1）

※受験者は、試験当日に必ず「受験票」を携帯してください。

※面接を受験しなかった場合は、合格者判定の対象となりません。

合格者発表

平成 30 年 7 月 11 日（水）13：00（予定）

掲示（理学部及び工学部構内）にて発表するとともに合格者宛てに合格通知を郵送します。

また、茨城大学理工学研究科ホームページ（<http://www.gse.ibaraki.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載します。（発表当日 14 時以降予定）

合格者受験番号は、必ず掲示または合格通知書により確認してください。

（注）合格者発表に関する電話等による照会には一切応じておりません。

第 2 次募集

第 2 次募集を実施することがあります。

実施する場合、詳細は 6 月中に本学のホームページで発表します。

口頭試問の出題内容

量子線科学専攻	※下記の試験科目の中から、受験生の学修状況と志望研究分野に応じて選択。
物理（力学、熱力学、統計力学、電磁気学、量子力学）	
化学（有機化学、無機化学、分析化学、物理化学、生物化学、化学工学）	
生物科学（細胞生物学、発生生物学、遺伝学、生理学、分子生物学、生命工学、生命科学）	
材料科学（材料組織、材料プロセス、電子物性、材料強度、電気回路）	

配点

面接（口頭試問を含む）：200 点

英語（TOEIC 又は TOEFL のスコアにより評価）：100 点

TOEIC、TOEFL のスコアは下記の方法によって換算します。

[TOEIC]

① 730 点以上の場合：換算点 = 満点

② 730 点未満の場合：換算点 = 満点 × (TOEIC のスコア) / 730

[TOEFL]

TOEFL-PBT (ITP も同様) のスコアを以下の計算式にて TOEIC スコアに換算後、TOEIC のスコアと同様の方法で換算点を計算します。

$$(\text{TOEIC のスコア}) = ((\text{TOEFL-PBT のスコア}) - 296) \times 2.874$$

TOEFL-iBT のスコアは TOEFL「Score Comparison Table」に基づき TOEFL-PBT のスコアに換算し、上記と同様な方法で換算点を計算します。

～ 社会人特別入試 ～

選抜方法

面接結果、学業成績、推薦書、志望理由書の内容等を総合して選考します。

面接日時及び試験場

平成 30 年 7 月 1 日（日）10：00～ 工学部試験場（茨城県日立市中成沢町 4-12-1）

※受験者は、試験当日に必ず「受験票」を携帯してください。

※面接を受験しなかった場合は、合格者判定の対象となりません。

合格者発表

平成 30 年 7 月 11 日（水）13：00（予定）

掲示（理学部及び工学部構内）にて発表するとともに合格者宛てに合格通知を郵送します。

また、茨城大学理工学研究科ホームページ（<http://www.gse.ibaraki.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載します。（発表当日 14 時以降予定）

合格者受験番号は、必ず掲示または合格通知書により確認してください。

（注）合格者発表に関する電話等による照会には一切応じておりません。

第 2 次募集

第 2 次募集を実施することがあります。

実施する場合、詳細は 6 月中に本学のホームページで発表します。

Ⅲ. 入学資格の個別審査について

一般入試出願資格(9)、(10)、社会人入試出願資格(4)のいずれかによる出願を希望する者は、以下により出願前に入学資格の個別審査を受ける必要があります。なお、一般入試出願資格(10)または社会人入試出願資格(4)による出願を希望する者で、入学資格の個別審査を受けることができる者は次のとおりとします。

- ① 短期大学、高等専門学校及び専門学校の卒業者など大学編入学資格を有する者で、更に短期大学又は高等専門学校の専攻科等における学習歴を有している者又は一定の実務経験を有している者
- ② 大学編入学資格を有していない専修学校・各種学校の卒業者やその他の国内外の教育施設の修了者等で、実務経験等を通じ専門分野について一定の資質・能力を有している者

提出書類

- (1) 入学試験入学資格個別審査申請書（本学所定の用紙）
- (2) 経歴書（本学所定の用紙）
- (3) 入学希望理由書（本学所定の用紙）
- (4) 最終学校の卒業（修了）証明書（生年月日の記載されたもの）
- (5) 最終学校の学業成績証明書（出身大学（学部）長又は学校長が作成し厳封したもの）
- (6) 返信用封筒（長形 3 号、362 円分郵便切手（速達料金含む）貼付）

申請手続

- (1) 申請期間及び方法

下記期間に郵送又は持参により手続を行ってください。

平成 30 年 5 月 21 日（月）～ 平成 30 年 5 月 23 日（水）

持参する場合 受付時間 10：00 ～ 11：45 及び 13：00 ～ 16：00

郵送の場合 必ず書留速達郵便とし、期間内必着とします。

- (2) 申請書提出先及び問い合わせ先

問い合わせは、平日の 8 時 30 分から 17 時 15 分の間をお願いします。

茨城大学理学部入試係 〒310-8512 水戸市文京 2-1-1 電話：029-228-8332

又は

茨城大学工学部入試係 〒316-8511 日立市中成沢町 4-12-1 電話：0294-38-5010

個別審査の結果通知

平成 30 年 6 月 1 日（金）に本人宛てに速達郵便で通知します。

個別審査における審査方法

最終学校の学業成績・経歴書・入学希望理由書等を総合的に審査し、決定します。

入学資格を認められた場合は、出願手続きができます。

IV. 個人成績の情報開示について

理工学研究科博士前期課程入学試験の個人成績を、下記により受験者本人に限って開示します。なお、合格者には開示しません。

1. 申込期間等

合格者発表翌日から2週間 9:00～16:00（土・日曜日及び祝日を除く。）

2. 申込者

受験者本人に限ります。（代理人は不可）

3. 申込方法

次の書類を持参のうえ来学し、所定の申請書により申し込んでください。

- ① 本学の受験票
- ② 本人確認のできる書類（学生証、免許証、パスポート等）
- ③ 返信用封筒（長形3号／12.0cm×23.5cm） ※郵送希望の場合

申込者の住所・氏名・郵便番号を明記の上、512円分郵便切手（書留料金を含む）を貼り付けてください。

なお、電話・郵便等での申し込みは受け付けておりません。

4. 申込先

茨城大学工学部入試係 茨城県日立市中成沢町4-12-1

5. 開示方法

受験者本人宛てに、後日入試窓口にて手渡し又は書留郵便で送付します。

6. 開示内容

【評価】不合格者には、段階別（3段階）に区分して開示します。

ただし、各募集単位の不合格者（欠格者は含まない）が5人未満の場合は開示しません。

【得点】開示しません。

【順位】開示しません。

V. 主要教育研究分野及び担当教員

量子線科学専攻の主要教育研究分野

コース	主要科目及び研究内容
環境放射線科学	【分子生物学・細胞生物学分野】 分子生物学、生体分子解析、細胞・組織培養、環境適応応答、突然変異生成機構 【放射線生物学分野】 放射線生物学、遺伝子損傷の修復機構、放射線分子生物学 【連携大学院】 放射線発がんリスク、放射線の人体影響評価、放射線生物物理学、放射線防護
物質量子科学	【理論物理分野】 素粒子論、場の量子論、弦理論、物性理論、統計力学、生物物理学 【物性実験分野】 強相関電子物性、中性子回折、物質開発 【物質材料工学分野】 固体物性学、材料組織学、電子・情報材料学、材料プロセス反応学、機能材料工学、複合材料学、計算材料学、塑性加工学、材料物理化学 【連携大学院】 量子ビーム（放射線）応用科学、新素材科学（半導体材料学、セラミック工学、高分子材料学）
化学・生命	【化学分野】 機能性分子化学、ナノ多孔質材料、計算化学、天然物有機化学、無機化学、物理化学、分析化学、電気化学、有機化学、界面科学、高分子化学、セラミックス、化学工学 【生命分野】 生物無機化学、光生体分子化学、構造生物化学、生体関連化学、生命工学、タンパク質工学、代謝化学、バイオインフォマティクス、生化学 【連携大学院】 電気化学、高速荷電粒子による材料評価、アクチノイド化学、触媒化学、核・放射化学
ビームライン科学	【J-PARC量子ビーム分野】 中性子回折学、中性子実験学、中性子回折・散乱装置開発、中性子ビーム制御・計測法、中性子光学、中性子・放射光・ミュオン・電子線を用いた物質科学 【連携大学院】 核化学、放射化分析、原子核工学、放射線防御・放射線計測

量子線科学専攻担当教員

職 名	氏 名	担当分野（講義または研究）	受入可能コース
教 授	田 内 広	遺伝子損傷の修復機構、放射線分子生物学に関する研究	環境放射線 化学・生命
〃	立 花 章	放射線による突然変異生成および適応応答の分子機構に関する研究・放射線生物学	環境放射線 化学・生命
〃	鳥 養 祐 二	福島復興のための放射性核種の環境動態に関する研究、核融合炉燃料の安全取扱に関する研究	環境放射線 物質量子科学 化学・生命
〃	中 村 麻 子	老化とがん化に関する細胞生物学的研究	環境放射線 化学・生命
〃	伊 賀 文 俊	機能性物質の開発とその磁性研究	物質量子科学
〃	池 田 輝 之	ナノ構造科学、熱電材料、機能材料	物質量子科学 化学・生命
〃	岩 本 知 広	粒界・界面、接合工学、電子顕微鏡学	物質量子科学
〃	太 田 弘 道	熱物性、複合材料の創製と物性評価	物質量子科学
〃	桑 原 慶太郎	中性子・X 線散乱実験による強相関電子系の電子状態に関する微視的研究	物質量子科学 ビームライン科学
〃	阪 口 真	素粒子論、ゲージ理論、超弦理論	物質量子科学
〃	篠 嶋 妥	材料実験の計算機シミュレーション、薄膜物性工学	物質量子科学 化学・生命
〃	佐 藤 成 男	量子ビーム回折・散乱による金属ミクロ組織解析学、結晶塑性学	物質量子科学
〃	鈴 木 徹 也	鉄鋼材料、軽金属材料の塑性加工、ミクロ組織制御	物質量子科学 化学・生命
〃	高 橋 東 之	量子ビームを活用した燃料電池材料、超イオン伝導体に関する研究	物質量子科学 化学・生命 ビームライン科学
〃	中 川 尚 子	統計力学、非線形非平衡系の物理学、理論生物物理学	物質量子科学
〃	福 井 隆 裕	物性理論	物質量子科学
〃	藤 原 高 徳	素粒子論、場の理論	物質量子科学
〃	湊 淳	防災や環境計測を目的として画像処理、ネットワークセンシング、光計測技術などを使いハードウェア技術と情報処理技術との組み合わせによる技術開発	物質量子科学
准教授	岩 瀬 謙 二	構造・機能材料、水質貯蔵材料、中性子回折	物質量子科学 化学・生命

職 名	氏 名	担当分野（講義または研究）	受入可能コース
准教授	佐 藤 直 幸	プラズマ理工学からのプラズマ生成・計測・制御とナノテクノロジーへの応用	物質量子科学
〃	佐 藤 正 寛	物性理論	物質量子科学
〃	田 代 優	異種金属接合、表面処理（めっき）、物理化学	物質量子科学
〃	中 野 岳 仁	配列ナノ空間を用いた新物質開発と、光学、磁性、ミュオン、中性子などの手法を用いた物性研究	物質量子科学 ビームライン科学
〃	西 剛 史	高温における熱物性評価、局所構造解析	物質量子科学
〃	西 野 創一郎	軽量化設計工学、材料強度学、材料加工学（塑性加工学）	物質量子科学 ビームライン科学
〃	百 武 慶 文	素粒子論、弦理論	物質量子科学
〃	横 山 淳	超伝導などの量子多体現象に対して巨視・微視測定（量子ビーム）を用いた研究	物質量子科学
講 師	永 野 隆 敏	第一原理分子動力学法を用いた表面、界面の構造安定性や評価	物質量子科学 化学・生命
教 授	海 野 昌 喜	量子線を使ったタンパク質の構造機能関連の研究・生体高分子特論	化学・生命 環境放射線科学 ビームライン科学
〃	江 口 美 佳	電池・エネルギー化学	化学・生命
〃	大 友 征 宇	光合成に関わる色素膜タンパク質複合体の構造解析と機能解明	化学・生命 環境放射線科学
〃	大 野 修	金属錯体の分光化学、量子化学および電子移動反応の研究・触媒化学	化学・生命
〃	木 村 成 伸	電子伝達系タンパクの構造・機能に関する研究とその応用	化学・生命 環境放射線科学 ビームライン科学
〃	高 妻 孝 光	量子ビームによる金属タンパク質の構造と機能に関する研究・量子生物化学	化学・生命 環境放射線科学
〃	小 林 芳 男	液相法による機能性薄膜および微粒子の合成法の開発と量子線を利用した微細構造解析	化学・生命
〃	佐 藤 格	天然物化学および天然物合成を指向した有機合成反応の開発	化学・生命 環境放射線科学
〃	西 川 浩 之	分子性導体を中心とした機能性物質の開発と物性に関する研究	化学・生命 物質量子科学
〃	藤 澤 清 史	生体関連遷移金属モデル錯体の構造と分光学的性質の研究	化学・生命 環境放射線科学
〃	森 聖 治	量子化学を基盤とする化学反応機構に関する理論的研究	化学・生命 環境放射線科学 物質量子科学

職 名	氏 名	担当分野（講義または研究）	受入可能コース
教 授	森 川 敦 司	耐熱性高分子および分岐高分子の合成	化学・生命
〃	山 内 智	気相法による薄膜合成とデバイス開発および量子線を利用した構造と機能の解析	化学・生命
〃	山 口 央	ナノ多孔質材料を利用したナノバイオデバイスの開拓に関する研究	化学・生命 物質量子科学
准教授	吾 郷 友 宏	典型元素の特徴を活かした機能性有機分子の開発と量子線を使った機能・構造解析	化学・生命
〃	北 野 誉	塩基配列の多型解析・系統解析に基づく遺伝子進化の研究	化学・生命 環境放射線科学
〃	熊 沢 紀 之	リン脂質二分子膜の電気測定による膜透過機構の研究	化学・生命
〃	庄 村 康 人	金属タンパク質の生合成・機能に関する量子線構造化学	化学・生命 環境放射線科学 ビームライン科学
〃	中 島 光 一	溶液反応化学に立脚した機能性セラミックスの合成と構造解析	化学・生命
〃	福 元 博 基	電子・光機能性 π 共役高分子の合成・評価と量子線を利用した構造解析	化学・生命
教 授	石 垣 徹	中性子回折を用いた機能性材料の結晶構造に関する研究	ビームライン科学
〃	岩 佐 和 晃	中性子およびX線散乱による新しい電子相転移と構造相転移を探る物性物理学	ビームライン科学 物質量子科学
〃	奥 隆 之	中性子の光学的性質を利用した中性子ビーム制御および中性子ビーム実験技術の開発と応用研究	ビームライン科学 物質量子科学 環境放射線科学
〃	大 山 研 司	J-PARCでの中性子散乱を利用した材料物性・強相関電子系の研究、および新しい中性子散乱実験法（ホログラフィー法）の開発	ビームライン科学 物質量子科学 化学・生命
〃	大 友 季 哉	中性子を用いた材料物性研究手法の開発と水素誘起物性研究	ビームライン科学 物質量子科学 化学・生命
〃	日 下 勝 弘	J-PARCでの中性子単結晶回折装置の開発とこれを用いた中性子構造生物学研究	ビームライン科学
〃	小 泉 智	中性子小角散乱を利用したソフトマターの構造と機能に関する研究および新しい中性子散乱装置の開発	ビームライン科学 物質量子科学
〃	田 中 伊知朗	水素・水和水に関する量子線構造生物学と中性子利用法の開発	ビームライン科学 化学・生命
〃	永 目 諭一郎	核・放射化学：重イオン核反応で合成される超アクチノイド元素のシングルアトムレベルでの化学	ビームライン科学 物質量子科学 化学・生命

職 名	氏 名	担当分野（講義または研究）	受入可能コース
教 授	目 時 直 人	中性子散乱による物質の構造と性質の解明と新規な中性子散乱手法の開発	ビームライン科学 物質量子科学 環境放射線科学
准教授	飯 沼 裕 美	スピン偏極ミュオンビームを用いた素粒子実験、生体分子科学実験	ビームライン科学 物質量子科学 化学・生命
〃	星 川 晃 範	中性子およびX線による水素結合に関連した材料の研究と装置開発	ビームライン科学 物質量子科学 化学・生命
〃	山 田 太 郎	中性子回折を利用したタンパク質分子構造の研究	ビームライン科学
講 師	細 谷 孝 明	X線および中性子回折を用いた有機固相反応の研究と中性子回折測定制御系の研究開発	ビームライン科学 化学・生命
助 教	前 田 知 貴	化学合成，ナノ・マイクロ構造解析，物性評価の3つの技術を駆使した機能性ソフトマテリアルの創製	ビームライン科学
(連携大学院)			
教 授	柿 沼 志津子	放射線発がんリスクとそのメカニズムに関する研究	環境放射線 化学・生命
〃	木 名 瀬 栄	放射線防護、特に人体影響評価を目的とした放射線及び線量の測定・評価	環境放射線 物質量子科学 化学・生命 ビームライン科学
〃	横 谷 明 徳	放射線照射効果に関する生物物理学的研究	環境放射線 化学・生命
〃	平 出 哲 也	放射線化学、陽電子（電子の反粒子）・ポジトロニウム（電子と陽電子の結合状態）科学	物質量子科学 化学・生命 ビームライン科学
〃	大 橋 健 也	薄膜材料工学	化学・生命
〃	香 川 博 之	有機機能性材料、高分子材料に関する研究	化学・生命
〃	山 口 憲 司	量子ビーム（放射線）応用科学	環境放射線 化学・生命 物質量子科学
〃	国 枝 賢	エネルギーサイクルシステム論、原子力基礎特論	ビームライン科学 物質量子科学

VI. 入 学 案 内

以下の入学手続等に関することは、入学願書提出先にお問い合わせください。

1. 入学手続、入学料及び授業料

(1) 入学手続期間

入学手続きの詳細については、合格者へ通知します。

(2) 入学手続きの際に納入する金額は、次のとおりです。

入学料 282,000 円

*学生教育研究災害傷害保険 2,430 円（8を参照）

*は、入学料と併せて一括納入をお願いしております。

(3) 授業料は、入学後、10 月末日までに前期分を納入いただきます。

半期分 267,900 円（年額 535,800 円）

納入方法は、入学後に別途通知します。

※ 入学料、授業料の納入が経済的理由により困難で、かつ学業優秀な者、又は風水害の被災等の特別な事情のある者には、選考の上、全額または半額の免除が認められる制度があります。

※ 入学手続きまでに入学料及び授業料の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用されることになります。

※ 在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

2. 修了認定及び学位

理工学研究科博士前期課程に2年以上在学し、各専攻所定の科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで学位論文審査並びに最終試験に合格した者には、次の修士の学位が授与されます。

ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとします。

所 属	学 位
量 子 線 科 学 専 攻	修士（理学）または修士（工学）

3. 長期履修学生制度

社会人特別入試に合格した者で、職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを申し出た時は、学長の許可が得られることがあります。

なお、入学年度から希望する場合は、入学手続き完了の日から3月末日までに申請することになっています。

4. 入学料免除制度

以下のような場合、本人の申請と選考により、入学料の全額又は半額が免除されることがあります。

(1) 経済的理由により入学料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合

(2) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

5. 入学料の徴収猶予制度

以下のような場合、本人の申請と選考により、入学料の徴収が猶予されることがあります。

- (1) 経済的理由により入学料の納入期限（入学手続き期間）までに納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合
- (2) 入学前1年以内において、大学等に入学する者の学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納入期限（入学手続き期間）までに納入が困難であると認められる場合
- (3) その他やむを得ない事情があると認められる場合

6. 授業料免除制度

以下のような場合、本人の申請と選考により、授業料の全額又は半額が免除されることがあります。

- (1) 経済的理由により授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合
- (2) 授業料の各期ごとの納期前6月以内（新入学生に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は、入学前1年以内）又は納期中において、学生の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は学生若しくは学資負担者が風水害の災害を受け、授業料の納入が著しく困難であると認められる場合
- (3) 前号に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

7. 日本学生支援機構奨学金制度

日本学生支援機構からの奨学金の貸与を希望する者は、申請により規定に基づき選考のうえ、貸与されます。貸与月額は、平成30年度入学者の例で、大学院第一種奨学生で88,000円又は50,000円の何れか希望する額です。

8. 保険制度

学生教育研究災害傷害保険は、学生が教育研究活動中に、不慮の事故や災害に遭った場合の保険制度として、国公立を含めた全大学生を対象にした全国的な保険制度です。

また、学研災付帯賠償責任保険は、学生が正課、学校行事、課外活動（大学が禁じた行為・活動を除く）及びその往復中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償に対処する制度です。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| (1) 学生教育研究災害傷害保険 | 2年間分 1,750円（加入必須） |
| (2) 学研災付帯賠償責任保険（Aコース） | 2年間分 680円（加入必須） |

なお、外国人留学生在が民間アパートを借りる場合、入居保証人に迷惑がかからないようにするために、「留学生住宅総合補償」制度があります。

詳しくは、留学生担当窓口（理学部学務第二係又は工学部学務第二係）へお問い合わせください。

茨城大学入学者選抜試験における災害救助法等の適用地域 の被災者に対する入学検定料免除の特別措置について

平成 30 年 4 月

茨城大学では、災害等で被災した受験生の進学のを確保する観点から、本学入学者選抜試験の出願に際し、入学検定料免除の特別措置を実施いたします。

この特別措置を希望される方は、入学課までお問い合わせ願います。

1. 特別措置の対象となる入学者選抜試験

平成 30 年度中に実施する本学学部・大学院・専攻科の入学者選抜試験（学部 3 年次編入学を含む。）

2. 措置内容

入学検定料の免除

3. 対象者及び対象にする災害

上記 1 の本学入学者選抜試験に出願する方で、次のいずれかに該当する方

- (1) 平成 23 年 3 月以降に指定された災害救助法適用地域において、地震、台風等の災害により被災した方で、次のいずれかに該当する場合
 - ① 主たる家計支持者が所有する家屋が、全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
 - ② 主たる家計支持者が災害により死亡又は行方不明である場合
- (2) 居住地が福島第一原子力発電所事故による帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された方

4. 申請方法

申請希望者は、各入試の出願受付開始 1 週間前までに事前に茨城大学学務部入学課（029-228-8064）に連絡し、相談してください。その後、該当すると判断された方は、「入学検定料免除申請書」（所定の様式）及び下記事由に関する証明書等（写し可）を提出してください。

- (1) 平成 23 年 3 月以降に指定された災害救助法適用地域において、地震、台風等の災害により被災
 - ① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が、全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
◆地方公共団体が発行する「罹災証明書」
 - ② 主たる家計支持者が災害により死亡又は行方不明である場合
◆主たる家計支持者の「死亡又は行方不明を証明する書類」
- (2) 居住地が福島第一原子力発電所事故による帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された方
◆地方公共団体が発行する「罹災証明書」又は「被災証明書」等

- (注) 1 入学検定料免除申請書については、事前に茨城大学ホームページからダウンロードし、必要事項を記入の上、入学検定料免除のための事由に関する証明書（罹災証明書等）を添付し、提出してください。出願時までには、証明書を提出できない方は、入学願書提出日までに入学検定料を納入し、出願手続きを行ってください。後日、入学検定料免除申請書類が揃いましたら、入学検定料相当額を返還いたします。
- 2 入学検定料免除の審査結果は、原則として「受験票」と一緒に送付します。

【本件問い合わせ先】

茨城大学 学務部 入学課

T E L 029-228-8064 F A X 029-228-8603

コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法

下記のコンビニ端末にてお支払いください(インターネット登録不要)

1 お申込み

セブン-イレブン
マルチコピー機
<http://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。

TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。



学び・教育
↓
入学検定料等支払

LAWSON Loppi
<http://www.lawson.co.jp>

MINISTOP Loppi
<http://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。

TOP画面の「**各種サービスメニュー**」よりお申込みください。

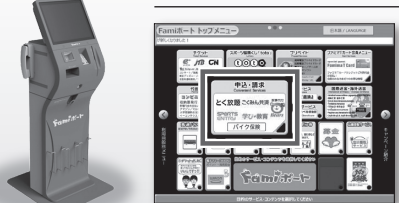


「各種申込(学び)」を含むボタン
↓
学び・教育・各種検定試験
↓
大学・短大・専門、小・中・高校等お支払い

あなたと、コンビニに、
FamilyMart Famiポート
<http://www.family.co.jp>

最寄りの「ファミリーマート」にある「Famiポート」へ。

TOP画面の「**申込・請求(学び・教育)**」よりお申込みください。



申込・請求
↓
学び・教育
↓
各種(入学検定料等)お支払いサービス

ケイステーション Kstation
<http://www.circleksunkus.jp>

最寄りの「サークルK・サンクス」にある「Kステーション」へ。

TOP画面の「**学び・申込**」よりお申込みください。



「学び・申込」
↓
各種(入学検定料等)のお支払い

茨城大学大学院 をタッチし、申込情報を入力して「**払込票**」/**申込券**」/**受付票**」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

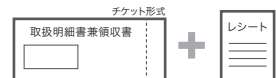
①コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi、Famiポート)または「受付票」(Kステーション)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**



②お支払い後、チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機、Kステーション)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi、Famiポート)。

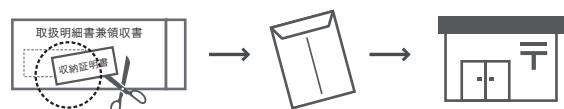


*出願期間最終日の支払受付時間は15時までとなります。
*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料	入学検定料が5万円未満	432円
	入学検定料が5万円以上	648円

3 出願

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「**収納証明書**」部分を切り取り、他の出願書類とともに提出してください。



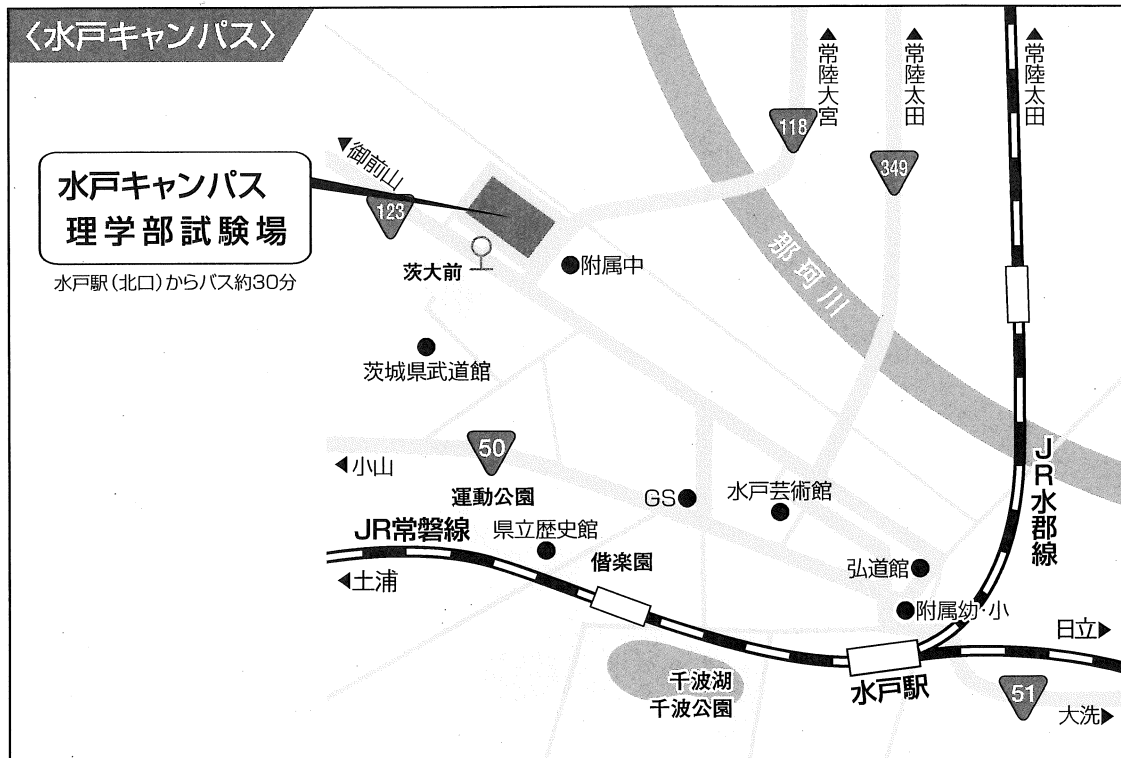
◎試験場等案内

水戸キャンパス

<http://www.ibaraki.ac.jp/generalinfo/campus/mito/index.html>

日立キャンパス

<http://www.ibaraki.ac.jp/generalinfo/campus/hitachi/index.html>



水戸駅北口のりば ⑦番 栄町経由 茨大行き 「茨大前」もしくは「茨大正門前」下車
⑥番 新原経由 茨大行き 「茨大前」もしくは「茨大正門前」下車



平成 30 年度後学期

茨城大学大学院理工学研究科

博士前期課程入学志願者名票

				受験番号	※
志望専攻	専攻				
志望指導教員名	☐ 志望する指導教員に事前に連絡をし、了承を得ました。				
フリガナ 氏名		男・女	生年 月日	昭和 平成	年 月 日 (才)
出願資格	大学 学部 学科 高等専門学校 学科・専攻			昭和・平成 年 月 卒業・卒業見込 修了・修了見込	
志願者 連絡先	〒 -	Tel () -		Mail @	
	住所				
志願者本人以外 の連絡先	〒 -	Tel () -		Mail @	
	住所				
	フリガナ			本人との 関係	
	氏名				
学歴	年 月 年 月	在学年数 年	入学 同校卒業		
	年 月 年 月	年	入学 同校卒業（修了）・見込		
	年 月 年 月	年			
	年 月 年 月	年			
	年 月 年 月	年			
	年 月 年 月	年			
職歴	年 月 年 月	在職年数 年			
	年 月 年 月	年			

記入上の注意
 1 ※印の欄は、記入しないでください。
 2 学歴は、高等学校以上を記入してください。ただし、国外の大学を卒業又は卒業見込みの者は、小学校から記入してください。また、国内の大学で研究生の経歴のある者は、学歴欄に記入してください。虚偽の記入をした者は、入学を取り消すことがあります。

平成 30 年度後学期 茨城大学大学院理工学研究科
博士前期課程入学志願者名票

				受験番号		※	
志望専攻		専攻					
志望指導教員名		□ 志望する指導教員に事前に連絡をし、了承を得ました。					
フリガナ 氏 名				男・女	生年 月 日	昭和 年 月 日 (才) 平成	
出願資格		大学 学部 学科 高等専門学校 学科・専攻				昭和・平成 年 月 日 卒業・修了	
志願者 連絡先		〒 -	Tel () -		Mail @		
勤務先		会社（機関）名					
		所在地	〒 -	Tel () -			
学歴	年 月	在学年数	入学 同校卒業				
	年 月	年	入学 同校卒業・修了				
	年 月	年					
	年 月	年					
	年 月	年					
	年 月	年					
職歴	年 月	在職年数					
	年 月	年					

- 記入上の注意 1 ※印の欄は、記入しないでください。
- 2 学歴は、高等学校以上を記入してください。ただし、国外の大学を卒業又は卒業見込みの者は、小学校から記入してください。また、国内の大学で研究生の経歴のある者は、学歴欄に記入してください。虚偽の記入をした者は、入学を取り消すことがあります。

平成 30 年度後学期
茨城大学大学院理工学研究科
博士前期課程
受験票

受験番号	※	
志望専攻	専攻	
フリガナ 氏名	-----	男・女

平成 30 年度後学期
茨城大学大学院理工学研究科
博士前期課程
写真票

受験番号	※	
志望専攻	専攻	
フリガナ 氏名	-----	男・女

写 真
写真を貼る前に 裏面に氏名を記入 してください。

- 記入上の注意
- 1 ※印の欄は、記入しないでください。
 - 2 氏名は、戸籍又は住民票のとおり記入してください。
 - 3 写真は、縦 4cm×横 3cm 正面上半身無帽で、出願前 3 か月以内に撮影したものを貼付してください。

受験番号	※
------	---

推薦書

平成 年 月 日

茨城大学長 殿

所在地 _____
会社（機関）名 _____

所属長職名・氏名 _____
(指導教員) 印

下記の者は、貴学の大学院理工学研究科博士前期課程の入学者として、
ふさわしい資格を持つ者として責任をもって推薦します。

記

志願者氏名 _____ 生 年 月 日 昭和 _____ 平成 _____ 年 月 日 生
志望専攻名 _____ 専攻

入学志願者の人物、在職中における本人の業績（業務年数・業務内容等）、入学後の
身分措置等について具体的に記入してください。

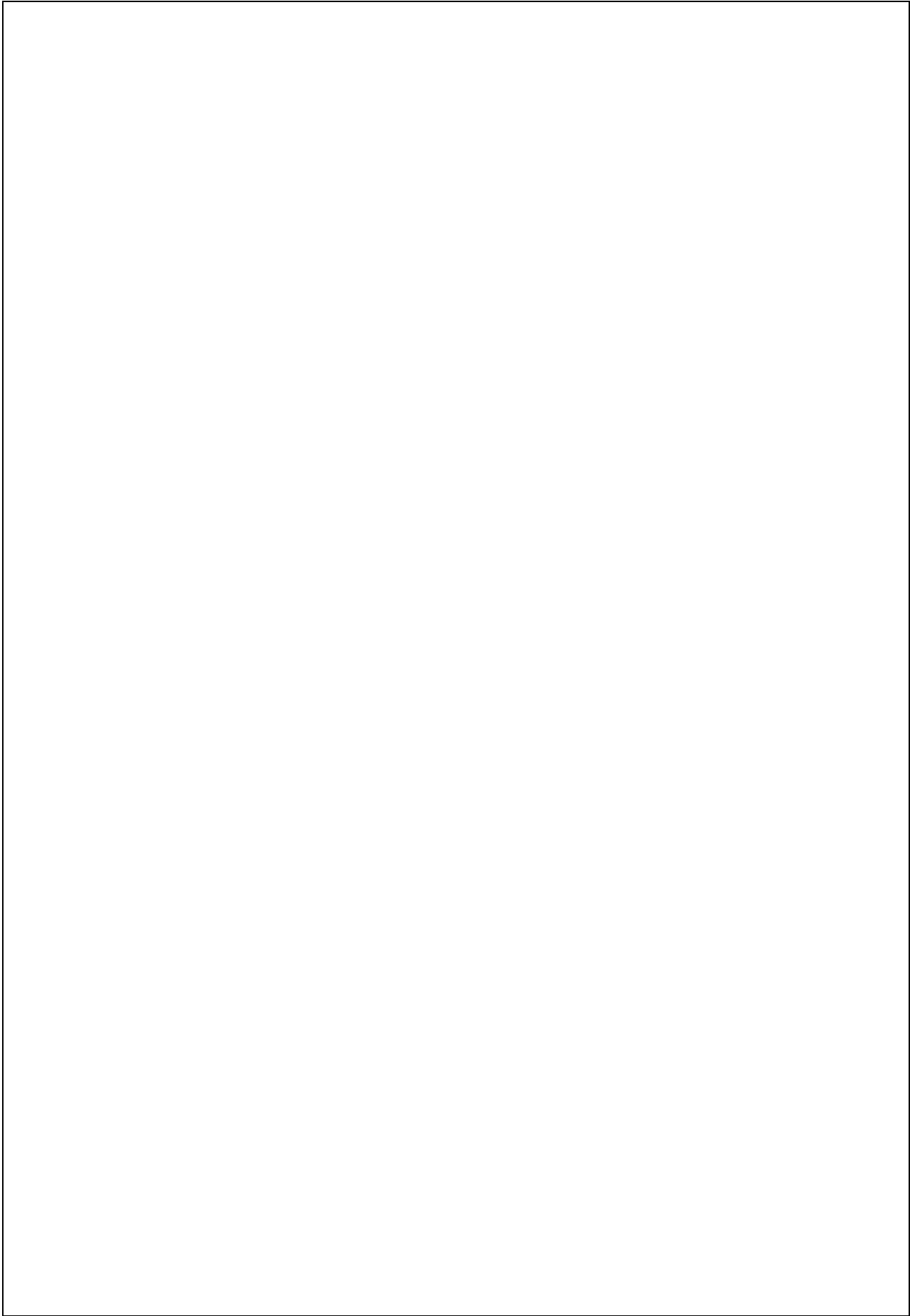
推薦理由	
------	--

※印の欄は、記入しないでください。

志 望 理 由 書

氏 名		受験番号	※
志 望 専 攻	専 攻		

※印欄は記入しないでください。



平成 30 年度後学期 茨城大学大学院理工学研究科博士前期課程
入学試験 入学資格個別審査申請書

平成 年 月 日

志 望 専 攻	専 攻		
志望指導教員名	☐ 志望する指導教員に事前に連絡をし、了承を得ました。		
フリガナ 氏 名		性別	男・女
生 年 月 日	年 月 日生 (歳)		
フリガナ 現 住 所	〒		
	Tel () -		
フリガナ 連 絡 先	〒		
	Mail @ Tel () -		
添 付 書 類	1. 最終学校の「学業成績証明書」 2. 最終学校の「卒業（修了）証明書」 3. 「経歴書」 4. 「入学希望理由書」		

平成 30 年度後学期 茨城大学大学院理工学研究科博士前期課程
経 歴 書

平成 年 月 日

氏 名 印 男・女
生年月日 年 月 日生

学 歴			
初 等 教 育 (小学校)	学校名	年 月 入学 年 月 卒業	修 学 年 数 ____ 年
	学校名	年 月 入学 年 月 卒業	修 学 年 数 ____ 年
中 等 教 育 (中学校) (高等学校)	学校名	年 月 入学 年 月 卒業	修 学 年 数 ____ 年
	学校名	年 月 入学 年 月 卒業	修 学 年 数 ____ 年
	学校名	年 月 入学 年 月 卒業	修 学 年 数 ____ 年
	学校名	年 月 入学 年 月 卒業	修 学 年 数 ____ 年
高 等 教 育 (大学) (大学院)	学校名	年 月 入学 年 月 卒業	修 学 年 数 ____ 年
	学校名	年 月 入学 年 月 卒業	修 学 年 数 ____ 年
以上を通算した全ての学校教育修学年数： ____ 年			

経 歴「最終学校卒業（修了）後の経歴」

期 間 (年 月 ~ 年 月)	内 容

※最終学校卒業（修了）後の職歴、学習歴、実務経験及び活動歴等を年代順に記入するとともに、その内容についても詳しく記入してください。

平成 30 年度後学期 茨城大学大学院理工学研究科博士前期課程
入 学 希 望 理 由 書

平成 年 月 日

氏 名 _____ 印

下記の理由により茨城大学大学院理工学研究科博士前期課程 _____ 専攻への
入 学 を 希 望 し ます。

記

※希望理由、入学後の研究計画等について詳細を記入してください。

茨城大学大学院 理工学研究科入試係

茨城大学ホームページ

<http://www.ibaraki.ac.jp/>

理工学研究科ホームページ

<http://www.gse.ibaraki.ac.jp/>

理学部入試係

〒310-8512 水戸市文京2丁目1番1号

工学部入試係

〒316-8511 日立市中成沢町4丁目12番1号